

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

事業の概要			根拠法令・例規等
事業開始年度	S46-		
総合計画	大項目 基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目 基本施策	03 個性あふれる観光のまちづくり	
小項目 施策	01 観光		
事務事業名	04	観光施設維持管理事業	このシート作成に要した時間 3.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	観光客	
目的 (何のために)	市内の観光施設を管理する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	利用者数の増を図る。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
開谷学校駐車場等管理事業	観光客に対して利便性を目的に設置した駐車場、緑地部分の維持管理等。		
伊部駅南ふもと交流センター管理運営事業	伊部駅南ふもと交流センターの維持管理を行う備前焼陶友会に対する指定管理料。		
大滝山上下水道管理組合負担事業	大滝山福生寺の水道・電気を管理する組合に負担(福寿院、西方院、実相院、備前市)		
観光施設・看板等修繕	観光施設、観光看板の修繕業務。		
取付護網設置業務	頭島外輪、大多府島宮ノ下、鹿久居島まほろば海水浴場の3箇所に設置し、観光客、地域住民に安心して楽しんでいたけ海水浴場に整備する。		
古代体験の郷まほろば管理運営事業	施設の管理運営事業。古代の体験ができる施設で観光振興、青少年の健全育成を図る。		
日生観光情報センターワンパース管理運営事業	施設の管理運営事業。日生の観光情報の窓口として、観光客、地域住民に発信する。		
ふれあいの館かざまち管理運営事業	施設の管理運営事業。大多府島唯一の簡易宿泊施設で、地域で管理運営していただくことで、都市住民と地元住民との交流を図る。		
ふれあい交流館しおまち管理運営事業	施設の管理運営事業。頭島の定期船待合所及び集会所で、観光客と地域住民の交流を深めることにより、観光振興を図る。		
楯越山管理業務	楯越山の観光トイレの清掃及び木文字の草刈り等で、施設を清掃・維持管理することで訪れる観光客等によりイメージを持っていただくよう整備する。		
観光トイレ等管理業務	日生地域にある観光トイレを清掃・維持管理することで、訪れる観光客等によりイメージを持っていただくようにする。		
開工料理館もやい茶屋管理運営事業	日生の磯魚を中心に古くから育まれた郷土料理を観光客、地元の人々に広く知ってもらい、観光振興に寄与する。		
吉永観光案内所管理運営	観光客等の情報提供の場とし、観光の振興を図ることを目的とし設置された観光案内所の維持管理。		
八塔寺ふるさと村管理運営事業	昭和初期に使用されていた、庶民生活資料や農機具等の展示施設で、八塔寺ふるさと村来訪者に、自由に見学していただいている。		
八塔寺山荘管理事業	市の観光の振興を図るため、宿泊施設として設置された八塔寺山荘の維持管理。		
大池緑地公園管理事業	開谷学校を訪れる観光客と地域住民の憩いと交流の場として設置された大池緑地公園の維持管理。		
和意谷管理事業	観光客等の利便性の向上を図ることを目的とした、参道及び墓所の草刈り及び倒木除去等の維持管理。		
八塔寺ふるさと村等管理事業	八塔寺ふるさと村の優れた農村景観を保存するための維持管理。		
ダム公園等管理事業	水と緑のやすらぎを主要テーマに住民の憩いの場として、また観光地として地域活性化に寄与することを目的とし設置された八塔寺川ダム公園等の維持管理		
八塔寺ふるさと館管理運営事業	地域における都市住民との交流、通称からの脱却及び所得の向上を図ることを目的として設置されたふるさと館の管理運営を行う		

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費	直接事業費	千円	61,037	54,767	29,378
	必要人員	人件費	0.91人	8,712	6,670
決算額	事業費	計	69,749	61,437	32,538
	国	支出金	3,584	3,584	3,584
	受	益者負担	26,969	21,402	15
	財	源			
	市	その他( )	12	860	698
	一般財源		39,184	35,591	28,241
	受益者負担比率	%	38.7%	34.8%	0.0%
結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	利用者数	説明	各施設への利用延べ人数		
	結果指標量		209,664	184,247	153,875
	対前年比	%		87.9%	83.5%
	活動コスト	円	69,749,000	61,437,000	
	単当たりコスト		333	333	0

事業の成果					
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
一施設当たり利用者数	目標値(A)	18,000	18,000	18,000	18,000
	実績値(B)	16,128	14,173	12,823	到達目標値
	達成率(B/A)	89.60%	78.74%	71.24%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
利用者数 / 管理施設数 (1.2)					

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰サービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	有効性の評価	目的達成度 市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	費用対効果を考慮しながら、施設の維持管理に努めるべきである						

総合評価		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
観光施設の適正な維持管理は、観光推進の上で重要なことである。観光客の満足度も考慮しながら、費用対効果による効率的な管理運営を行う必要がある。		

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	費用対効果を検証しながらも、観光客へのおもてなしの心で、施設の維持管理に努めるべきである。						

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな